



チー ム 身 延

学校の理念：「すべての子どもに笑顔があふれる学校を・・・」

身延町立身延小学校
Tel 0556-62-0066
Fax 0556-62-0368

5月16日を「旅の日」というそうです。江戸時代の俳人・松尾芭蕉が「奥の細道」に出発したのが1689年3月27日。この日付を新暦に換算した日が5月16日です。332年前の昨日がその日に当たります。総移動距離2400km、150日間に及び大旅行でした。その出発の日にちなんで名付けられたようです。



笑顔輝く玄関前のツツジ

身延小学校児童145名も、毎日旅行（登下校）を続け、4月から47日（授業日数26日）が経過しました。7月21日が1学期終業式なので、1学期の残り日数は65日（授業日数47日）です。早いものです。限られた時間の中で、たくさんの発見・学びができればと願っています。

さて、今週の20日（木）は、児童総会です。令和3年度の「児童会テーマ」は、『仲間との【絆】を大切に、笑顔の花を咲かせよう！』（案）です。素敵なテーマです。力をあわせ素敵な学校を創っていってくださることでしょう。詳細については、次回のお便りに掲載します。

1年生を迎える会

4月22日（木）の2校時、1年生を迎える会がありました。児童会本部が中心になり企画・運営しました。「1年生の自己紹介」、「1年生クイズ」、「ジャンケンチャンピオン」等々、とても楽しい会になりました。1年生の好きな食べ物は、「スイカ」「ミカン」「バナナ」等、フルーツ系の食べ物が多かったのですが、中には「マグロ」などという子もいて、会場内



1年生へのインタビュー

が笑顔に包まれました。「好きなことは？」の質問では、「ぬり絵」「おにごっこ」「鉄棒」のほか、「宿題」と言う子もいました。もちろん、みんな違ってみんないいですよ。この会を通して、1年生も身延小の仲間入りを果たすことができました。145名の皆さん、笑顔あふれる学校にしましょうね。



みのワンから歓迎のプレゼント
サプライズに歓声が！

「1年生を迎える会」もうひとつの意義 ～ 実は、2年生～6年生のための迎える会 ～

この日から、学校生活のいろいろな場面で2年生～6年生は、1年生の良いお手本になることを意識しなければなりません。たとえば、「おはようございます。」としっかりあいさつをしているのを見れば、1年生も自然とあいさつができるようになります。一生懸命掃除をしているのを見れば、1年生も「僕もちゃんと掃除できるようになりたいな。」と思うようになります。トイレに行ったときも、スリッパをきちんと並べているのを見れば、1年生も「私もちゃんと並べなきゃ。」と思うようになります。1年生はいつも見ています。そして、何でもまねをしながらいろいろなことを学んでいます。ですから、「早くお兄さん、お姉さんみたいになりたいな。」と、1年生に思わせることができるよう、しっかり自覚を促す機会になるのです。2年生、3年生、4年生、5年生、6年生も責任重大というわけです。

なりたい自分になるための10カ条

全校集会や総会の中で、1条と、4条の話をさせてもらいました。



美しさを維持している下駄箱

第1条：あいさつをしっかりとる（笑顔で、気持ちのよいあいさつ）

第4条：くつをそろえる（脚下照顧：まずは足下から）

授業参観や学校訪問等の折りに、児童玄関の靴を見ていただいた事があるかと思いますが、いつも非常にきれいにそろっています。これは、身延小学校の長年の伝統だと思います。素晴らしいことです。

今度は、学校で学んだこと（インプットしたこと）を、家や社会生活で活かしてもらいたい（アウトプットしてもらいたい）と思います。ご家庭でも靴そろえ等、できるようになったら、励ましや賞賛などの声かけもお願いします。

子どものための10カ条は、我々教職員のため、我々大人のための、お家の方のための10カ条であるとも思っています。「子どもは、大人（教師、保護者等）の言うことより、することを真似る。」といわれます。率先垂範、私たちも意識して取り組みたいですね。（PTA 総会資料P3参照）

身延見聞録

4月27日に、3年生と社会科見学で、梅平・波木井の探検に行った時の出来事です（PTA総会でのお話の一部抜粋）。

波木井の発電所を通り過ぎ波木井山に向かって歩いていると、1台の救急車が回転灯をつけて止まっている事に気がつきました。緊急事態です。その場を通り過ぎる時です。3年生のA児童が救急隊員に向かって「がんばってください。」と話しかけました。心から思ったのでしょう。「優しい子だなあ。」と感心しました。その声を聞いた救急隊員は、忙しいにもかかわらず、その返事としてなんて言ったと思いますか？「ありがとうございます。」と深く頭を下げたのです。その後、ちびっ子広場の側道をサイレンを鳴らしながらバイパスの方へ去って行きました。たとえ3年生の子どもであっても、礼儀正しく対応してくださる素敵な消防隊員でした。なんとも心温まる光景で、お会いしてお礼を言いたいほどの立ち居振る舞いでした。

学校・家庭・地域とが三位一体となり、地域の子どもは地域（共同指導体制）で育てることの重要性を再認識致しました。

ご協力に心から感謝致します！

「家庭訪問」、「授業参観」、「PTA 総会」、「学年部会」へのご参加、ご協力、誠にありがとうございました。2年ぶりに開催できたの

も、皆様の徹底した感染症対策等のおかげです。心より感謝申し上げます。

上記の行事を通して、顔の見えるコミュニケーションの大切さを実感しました。紙面では情報は伝わりますが、情熱や思いはなかなか伝えることはできません。そういった意味においても、大変有意義な会になったのではと感じ入った時間となりました。今後ともご協力よろしくお願い致します。

末筆になりますが、昨年度のPTA会長の遠藤公久様をはじめ、役員の皆様、会員の皆様、1年間ご協力ありがとうございました。また、令和3年度のPTA会長の佐野慈一様をはじめ、役員の皆様、会員の皆様、1年間よろしくお願い致します。



佐野新会長から遠藤会長へ記念品贈呈

文責 校長 片田幸樹